

淑徳大学研究データポリシー

2025年12月1日

淑徳大学（以下「本学」という。）は、本学建学の理念にのっとり、深奥なる学術の理論及び応用を研究教授し、また研究能力を養い、もって人類の文化と福祉の増進に貢献することを目的とする。

このため本学は、研究成果の信頼性の担保として研究データを適切に管理し、また、研究データの公開により利活用を促進することで学問研究のさらなる発展に寄与するために研究データポリシーを以下のとおり定める。

（研究データの定義）

1. 本ポリシーが対象とする研究データは、本学における研究活動の過程で研究者によって収集または生成されたデータ等を指し、デジタルか否かを問わない。

（研究データの管理等）

2. 研究データの管理ならびに公開および利活用に供する方法は、それを収集または生成した研究者が法令、本学の規程その他これに準ずるものとの範囲内、ならびに他の者の権利および法的利益を害さない範囲内において、決定することができる。

（研究者の責務）

3. 研究者は、前項に掲げる範囲内において、研究データを適切に管理し、可能な限りそれを公開し、利活用に供する。

（本学の役割）

4. 本学は、研究者による研究データの管理ならびに公開および利活用を支援するための環境整備を推進する。

（ポリシーの見直し）

5. 社会や学術環境の変化に応じて、適宜本ポリシーの見直しを行うものとする。